

中学生における部活動の選択理由と満足度について

Reasons for choosing extracurricular activities in junior high school students
and their satisfaction

和田 拓也, 関 耕二, 西垣 充子, 岩谷英里菜, 俵 梨々花, 安井 仁

地域教育学研究第 13 巻第 1 号 (別刷)

(2021 年 3 月)

中学生における部活動の選択理由と満足度について

Reasons for choosing extracurricular activities in junior high school students and their satisfaction

和田 拓也¹⁾, 関 耕二²⁾, 西垣 充子³⁾, 岩谷 英里菜¹⁾, 俵 梨々花¹⁾, 安井 仁⁴⁾
WADA Takuya¹⁾, SEKI Koji²⁾, NISHIGAKI Mitsuko³⁾,
IWATANI Erina¹⁾, TAWARA Ririka¹⁾, YASUI Hitoshi⁴⁾

¹⁾鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科 地域学専攻 人間形成コース,

²⁾鳥取大学 地域学部 地域学科 人間形成コース, ³⁾鳥取市立湖東中学校, ⁴⁾鳥取大学附属中学校

キーワード：中学生 junior high school students, 部活動 extracurricular activity,
選択理由 reasons to choose, 満足度 satisfaction

緒言

我が国の学校教育においては、学校教育の一環としてスポーツや文化的活動を行うクラブ活動と部活動がある。このうち、義務教育期間では小学校でクラブ活動が実施されており、特別活動の一領域として教育課程内の活動とされている¹⁾のに対し、中学校で部活動は課外活動として多くの中学校で実施されている²⁾。また、部活動について中学校の学習指導要領では、「生徒の自主的・自発的な参加による部活動については、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること」²⁾と記されており、部活動での異年齢との交流によって、生徒同士や生徒と教師等との好ましい人間関係の構築を図ることが出来ると指摘されている³⁾。

一方、学校教育外におけるスポーツ活動においては、プロスポーツチームの下部組織、スポーツ少年団や総合型地域スポーツクラブ等が存在している。2014年の全国の小学生のうちスポーツ少年団に加入していたのは9.8%であり、中学生では2.5%、高校生では0.2%であったことや⁴⁾、総合型地域スポーツクラブも増加していることなどから⁵⁾、学校以外でのスポーツ活動の場が広がりつつある現状であるが、多くの生徒にとって中学校以降は、学校での部活動が主なスポーツ活動の場であることが推察される。

しかしながら、今日においては、社会・経済の変化等により、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し、学校や教師だけでは解決することができない課題が増えている。とりわけ、少子化が進展する中、運動部活動においては、従前と同様の運営体制では維持は難しくなっており、学校や地域によっては存続の危機にある⁶⁾。鳥取県においても、他県と比較して早く学校の統廃合が進み⁷⁾、その対応

策として小中一貫教育校の設置が増えてきている⁸⁾。近年、教員の長時間労働や指導力などの視点から部活動について様々な課題について検討されているが⁹⁾、生徒側からの視点では、少子化の影響で学校に自分が希望する部活動が存在しないことや、学校外における地域のスポーツクラブなどの選択肢が少ないことなど、地方の生徒のニーズに関する検討は不明な点が多い。

そこで、本研究では、鳥取市内の中学校を事例に、中学生における部活動の選択理由とその満足度について明らかにすることを目的とした。

研究方法

鳥取県鳥取市のK中学校の1~3年生565名及びT中学校の1~3年生396名の計961名を対象に、部活動の選択理由及び満足度についてのアンケート調査を行った。K中学校は、4つの小学校から進学してくる中学校で、生徒全員が何らかの部活動に加入することが原則であり、運動部が16部で文化部が6部あった。また、T中学校はT大学附属中学校であるため約60の小学校から進学してくる中学校で、生徒全員が何らかの部活動に加入することが原則であり、運動部が15部で文化部が3部あった。尚、アンケート調査は各校の学校長から合意を得た上で、2019年12月に実施した。

部活動の選択理由の項目については、先行研究¹⁰⁾を参考に24項目を設定した。部活動選択理由の選択は、24項目のうち重要視したものを3項目まで選択させた。

満足度の項目については、本研究独自に設定した「部活動が楽しいと思う」、「その活動がさらに好きになった」及び「今後もこの活動を続けていきたいと思う」の3項目に、先行研究¹¹⁾を参考に「部活動での欲求満足度」を示す10項目、「充実感」を示す9項目、「中学生が認識した部活動の集団凝集性」を示す8項目、「中学生が認識した顧

問教師の指導性」を示す9項目を追加し、計39項目設定した。満足度は5件法（1：全くそう思わない、2：そう思わない、3：どちらでもない、4：そう思う、5：とてもそう思う）とし、その中から最も近いものを1つ選択させた。さらに、満足度については、分析対象者の全体、男子、女子、運動部、文化部、運動部男子、運動部女子、文化部男子及び文化部女子に分類し、それぞれの平均値を求めて、比較検討をMann-WhitneyのU検定を用いて行った。尚、統計ソフトIBM SPSS Statistics 25を用い、有意水準は5パーセント未満とした。

結果と考察

2校合わせて961名のアンケートが回収されたが、このうち、性別と所属部活動の記載、部活動の選択理由および満足度のすべてに回答が確認された891名（男子444名、女子447名）を分析対象とした。尚、運動部639名（男子365名、女子274名）、文化部252名（男子79名、女子173名）であった。

（1）部活動の選択理由について

部活動の選択理由については、選択された回答数が人によって最小1つから最大3つ異なるため、対象者全員が3つ選択した場合の総回答数に対して得られた回答数の割合で用いて分析した。

分析対象者である891名全員が部活動の選択理由を3項目選択した場合、回答数は2673となるが、実際に得られた回答数は2315であった。この分析対象者の全体における部活動の選択理由で回答率の高かった項目は「その活動が好きだから」が10.81%（289）、「楽しそうだから」が10.36%（277）、「以前からやっていたから」が8.68%（232）、「仲間と楽しく過ごせそうだから」が7.30%（195）及び「必ず入らなければならないから」が6.43%（172）となった。なかでも「以前からやっていたから」では、8.68%（232）のうち運動部が7.82%（209）であったのに対し、文化部は0.86%（23）であり、特に文化部の回答が少なかった。

また、男子444名における部活動の選択理由を3項目選択した場合、回答数は1332となるが、実際に得られた回答数は1172であった。この男子における回答率の高かった項目は「その活動が好きだから」が13.66%（182）、「楽しそうだから」が9.46%（126）、「以前からやっていたから」が9.01%（120）、「仲間と楽しく過ごせそうだから」が7.21%（96）、「技術を高めたいから」が5.86%（78）だった。なかでも「以前からやっていたから」と回答した男子はすべて運動部であり、文化部で回答したものはいなかった。

同様に、女子447名における部活動の選択理由を3項目選択した場合、回答数は1341となるが、実際に得られた回答数は1143であった。この女子における回答率の高かった

項目は「楽しそうだから」が11.26%（151）、「以前からやっていたから」が8.35%（112）、「その活動が好きだから」が7.98%（107）、「仲間と楽しく過ごせそうだから」が7.38%（99）及び「必ず入らなければならないから」が7.08%（95）だった。

これまでの研究では、男子は活動内容や中学校入学前からの活動の継続性を重視し、女子は周囲の環境や友人関係を部活動の選択理由とする傾向があることが報告されている¹⁰。本研究においても、男女とも部活動の選択理由として「その活動が好きだから」、「楽しそうだから」が上位であったが、男子は「以前からやっていた」や「技術を高めたいから」など活動内容や中学入学以前から活動の継続を理由とする傾向がうかがえ、女子では継続性に加えて「仲間と楽しく過ごせそうだから」や「必ず入らなければいけないから」など友人関係や義務感を理由としていることが明らかとなった。

さらに、運動部員639名が部活動の選択理由を3項目選択した場合、回答数は1917となるが、実際に得られた回答数は1651であった。この運動部員における回答率の高かった項目は「その活動が好きだから」が11.27%（216）、「以前からやっていたから」が10.90%（209）、「楽しそうだから」が9.18%（176）、「仲間と楽しく過ごせそうだから」が6.73%（129）、「必ず入らなければならないから」が5.27%（101）、「なんとなく」5.27%（101）及び「周りに勧められたから」が5.27%（101）だった。

同様に、文化部員252名が部活動の選択理由を3項目選択した場合、回答数は756となるが、実際に得られた回答数は663であった。この文化部員における回答率の高かった項目は「楽しそうだから」が13.36%（101）、「その活動が好きだから」が9.66%（73）、「必ず入らなければならないから」が9.39%（71）、「仲間と楽しく過ごせそうだから」及び「部活動紹介や体験入部で雰囲気がよかったから」が8.73%（66）だった。

このように、本研究で分析対象となった生徒における運動部の選択理由は「以前からやっていたから」という継続性に特徴としてみられ、文化部では「必ず入らなければならないから」という義務感や「仲間と楽しく過ごせそうだから」及び「部活動紹介や体験入部で雰囲気がよかったから」という友人関係や周囲の環境に特徴がみられ、これらが部活動の選択に影響していることが考えられる。

（2）部活動の満足度について

部活動の満足度については、分析対象者全体（891名）、男子（444名）、女子（447名）、運動部（639名）、文化部（252名）、運動部男子（365名）、運動部女子（274名）、文化部男子（79名）及び文化部女子（173名）に分類し、それぞれの平均値と標準偏差を表1に示した。

満足度について男女比較した結果、「今後もこの活動を続けていきたいと思う」、「自分の果たすべき役割があ

表1 部活動の満足度に関する質問項目とその平均値

	全体 (n=891)	男子 (n=444)	女子 (n=447)	運動部 (n=641)	文化部 (n=252)	運動部男子 (n=365)	運動部女子 (n=274)	文化部男子 (n=79)	文化部女子 (n=173)
部活動が楽しいと思う	4.00 (1.15)	4.08 (1.09)	3.93 (1.20)	3.98 (1.15)	4.08 (1.13)	4.06+ (1.11)	3.86 (1.20)	4.15 (1.01)	4.04 (1.18)
その活動がさらに好きになった	3.84 (1.20)	3.88 (1.16)	3.80 (1.23)	3.81 (1.20)	3.92 (1.19)	3.88 (1.17)	3.70 (1.23)	3.87 (1.12)	3.95 ¶ (1.22)
今後もこの活動を続けていきたいと思う	3.77 (1.23)	3.91** (1.13)	3.63 (1.31)	3.76 (1.21)	3.79 (1.27)	3.91** (1.14)	3.57 (1.29)	3.92 (1.08)	3.73 (1.34)
自分で活動内容を選んだり決めたりできている	3.52 (1.18)	3.52 (1.20)	3.53 (1.15)	3.51 (1.17)	3.57 (1.21)	3.57 (1.18)	3.42 (1.14)	3.29 (1.28)	3.69 † (1.15) ¶
活動内容に自分の意思が活かされている	3.40 (1.12)	3.44 (1.07)	3.36 (1.17)	3.39 (1.10)	3.40 (1.18)	3.44 (1.07)	3.33 (1.13)	3.41 (1.09)	3.40 (1.22)
自分の果たすべき役割がある	3.73 (1.10)	3.82* (1.04)	3.64 (1.16)	3.76 (1.09)	3.65 (1.13)	3.88** (1.02) ¶	3.59 (1.16)	3.53 (1.08)	3.71 (1.15)
自分の判断に自信をもって行動できている	3.58 (1.03)	3.64 (1.00)	3.52 (1.06)	3.58 (1.01)	3.58 (1.08)	3.67+ (0.97)	3.47 (1.04)	3.52 (1.09)	3.61 (1.07)
自分らしさを発揮している	3.66 (1.09)	3.72 (1.06)	3.60 (1.12)	3.65 (1.10)	3.68 (1.09)	3.73 (1.05)	3.55 (1.14)	3.68 (1.09)	3.67 (1.09)
部の一員であることで安心することがある	3.69 (1.16)	3.74 (1.13)	3.65 (1.18)	3.72 (1.15)	3.63 (1.17)	3.78 (1.13)	3.64 (1.17)	3.57 (1.11)	3.66 (1.20)
部の一員であることを誇りに思うことがある	3.63 (1.17)	3.69 (1.15)	3.58 (1.19)	3.66 (1.17)	3.58 (1.18)	3.72 (1.16)	3.57 (1.17)	3.53 (1.08)	3.60 (1.22)
自分にとって大切な集団であると思う	3.90 (1.15)	3.96 (1.10)	3.85 (1.20)	3.93 (1.14)	3.85 (1.19)	3.99 (1.16)	3.85 (1.16)	3.82 (1.04)	3.86 (1.25)
自分に強い影響を与えている集団だと思う	3.76 (1.17)	3.77 (1.14)	3.75 (1.19)	3.72 (1.17)	3.85 (1.15)	3.77 (1.15)	3.66 (1.20)	3.75 (1.11)	3.89 ¶ (1.17)
自分にとって大切な居場所だと思う	3.77 (1.13)	3.83 (1.08)	3.71 (1.18)	3.77 (1.12)	3.79 (1.16)	3.84 (1.10)	3.67 (1.15)	3.82 (1.00)	3.77 (1.23)
毎日の生活の中に熱中できることがあると感じる	3.78 (1.15)	3.82 (1.10)	3.73 (1.19)	3.76 (1.15)	3.83 (1.14)	3.82 (1.11)	3.66 (1.20)	3.77 (1.07)	3.85 (1.17)
毎日の生活の中で何かを成し遂げる喜びを感じている	3.74 (1.09)	3.77 (1.06)	3.70 (1.12)	3.74 (1.10)	3.73 (1.07)	3.80 (1.07)	3.66 (1.14)	3.65 (1.03)	3.77 (1.08)
生活に充実感に満ちた楽しさがある	3.69 (1.10)	3.73 (1.07)	3.65 (1.13)	3.67 (1.10)	3.75 (1.10)	3.77+ (1.06)	3.54 (1.15)	3.57 (1.12)	3.83 ¶¶ (1.09)
自分の夢をかなえようと思ってもいる	3.49 (1.12)	3.58* (1.09)	3.40 (1.14)	3.46 (1.12)	3.56 (1.13)	3.58** (1.10)	3.32 (1.12)	3.62 (1.07)	3.53 ¶ (1.16)
自分の良い面を一生懸命のぼそうとしている	3.76 (1.04)	3.86** (1.01)	3.65 (1.06)	3.78 (1.03)	3.70 (1.06)	3.89** (1.00)	3.62 (1.05)	3.72 (1.05)	3.69 (1.06)
自分の良いところも悪いところもありのまま認めることができる	3.79 (1.03)	3.83 (1.02)	3.76 (1.03)	3.80 (1.02)	3.78 (1.05)	3.86 (1.01)	3.72 (1.03)	3.71 (1.08)	3.81 (1.04)
自分なりの個性を大切にしている	3.76 (1.04)	3.78 (1.06)	3.75 (1.03)	3.75 (1.03)	3.79 (1.09)	3.81 (1.02)	3.67 (1.02)	3.63 (1.19)	3.87 ¶ (1.03)
先生から認められていると感じる場がある	3.54 (1.07)	3.61 (1.05)	3.48 (1.10)	3.54 (1.06)	3.56 (1.11)	3.64** (1.04)	3.40 (1.07)	3.47 (1.07)	3.60 (1.12)
仲間から認められていると感じる場がある	3.70 (1.04)	3.74 (1.02)	3.65 (1.05)	3.68 (1.02)	3.73 (1.09)	3.77+ (1.00)	3.56 (1.03)	3.61 (1.12)	3.78 ¶ (1.07)
部の仲間の中には、お互いにくまなくとうとする雰囲気がある	3.80 (1.12)	3.84 (1.09)	3.77 (1.15)	3.81 (1.12)	3.78 (1.12)	3.88 ¶ (1.11)	3.73 (1.13)	3.66 (0.99)	3.83 (1.16)
試合に勝つことやコンクールへ入賞することなど成績を残すことを大きな目標としている	3.79 (1.18)	3.86 (1.14)	3.72 (1.22)	3.81 (1.21)	3.73 (1.12)	3.93** (1.14) ¶	3.66 (1.27)	3.52 (1.05)	3.82 † (1.14)
みんなの共通の目標に向かってメンバーが丸となって活動している	3.71 (1.14)	3.73 (1.11)	3.69 (1.16)	3.74 (1.14)	3.63 (1.12)	3.79 ¶ (1.11)	3.68 (1.18)	3.44 (1.06)	3.72 † (1.14)
一人一人が目標をもってそれに向かって活動している	3.74 (1.10)	3.76 (1.07)	3.71 (1.12)	3.75 (1.08)	3.69 (1.13)	3.79 (1.05)	3.70 (1.12)	3.65 (1.11)	3.72 (1.14)
意見を素直に言える雰囲気がある	3.71 (1.14)	3.78 (1.13)	3.64 (1.14)	3.73 (1.11)	3.66 (1.21)	3.80+ (1.12)	3.63 (1.08)	3.67 (1.14)	3.66 (1.23)
何でも自由に話し合える雰囲気がある	3.80 (1.16)	3.84 (1.15)	3.77 (1.17)	3.84 (1.14)	3.71 (1.20)	3.90 ¶ (1.15)	3.77 (1.12)	3.58 (1.09)	3.77 (1.25)
部員一人一人の意思を大切にしている	3.72 (1.14)	3.76 (1.14)	3.69 (1.13)	3.75 (1.12)	3.64 (1.18)	3.81 ¶ (1.14)	3.67 (1.08)	3.49 (1.11)	3.71 (1.20)
自分たちが主体となって活動している	3.79 (1.13)	3.84 (1.14)	3.75 (1.12)	3.81 (1.12)	3.75 (1.16)	3.88+ (1.16)	3.71 (1.11)	3.65 (1.22)	3.80 (1.13)
顧問の先生は、部活動のある日は指導をしに来てくれる	3.56 (1.22)	3.61 (1.19)	3.51 (1.24)	3.61 (1.20)	3.43 (1.26)	3.63 (1.20)	3.58 (1.21)	3.53 (1.17)	3.39 (1.29)
顧問の先生は、練習内容や計画を部員が十分に理解できるように教える(練習時間を含む)	3.63 (1.23)	3.70 (1.22)	3.56 (1.24)	3.70 § (1.22)	3.47 (1.24)	3.73 (1.23)	3.65 (1.20)	3.56 (1.16)	3.43 (1.27)
顧問の先生は、部員の技術向上のために面倒をよく見る	3.61 (1.24)	3.67 (1.22)	3.56 (1.26)	3.63 (1.24)	3.56 (1.24)	3.68 (1.23)	3.56 (1.25)	3.60 (1.15)	3.54 (1.28)
顧問の先生は、反省したことは次の機会に生かすよう指導する	3.77 (1.19)	3.82 (1.16)	3.72 (1.22)	3.80 (1.17)	3.70 (1.25)	3.84 (1.15)	3.73 (1.18)	3.69 (1.18)	3.71 (1.28)
顧問の先生は、技術やコツを上手に部員に教える	3.55 (1.31)	3.61 (1.29)	3.50 (1.32)	3.62 § (1.29)	3.39 (1.35)	3.63 (1.29)	3.61 ¶ (1.29)	3.51 (1.31)	3.34 (1.37)
練習の時は顧問の先生自身が模範演技者となって指導する	3.39 (1.35)	3.44 (1.34)	3.35 (1.35)	3.48 § § (1.33)	3.18 (1.37)	3.49 (1.33)	3.46 (1.32)	3.22 (1.35)	3.17 (1.38)
顧問の先生は、失敗したときなど冗談を言ったりしてみんなを励ます	3.22 (1.27)	3.30* (1.28)	3.14 (1.25)	3.23 (1.26)	3.19 (1.30)	3.30+ (1.27)	3.13 (1.24)	3.26 (1.35)	3.16 (1.27)
顧問の先生は、部員全体がなじめるような雰囲気をつくる努力をしている	3.52 (1.27)	3.54 (1.28)	3.50 (1.26)	3.55 (1.24)	3.43 (1.32)	3.58 (1.26)	3.51 (1.22)	3.34 (1.34)	3.47 (1.31)
顧問の先生は、部員の立場をよく考えている	3.63 (1.26)	3.68 (1.24)	3.58 (1.27)	3.65 (1.25)	3.56 (1.29)	3.70 (1.26)	3.60 (1.23)	3.58 (1.16)	3.55 (1.34)
平均	3.68 (0.84)	3.69 (0.85)	3.62 (0.85)	3.69 (0.85)	3.65 (0.81)	3.76+ (0.83) ¶	3.59 (0.86)	3.60 (0.74)	3.67 (0.85)

値：平均値(標準偏差)

男子 vs 女子 (* : p<0.05, ** : p<0.01)、運動部 vs 文化部 (§ : p<0.05, § § : p<0.01)

運動部男子 vs 運動部女子 (+ : p<0.05, ++ : p<0.01)、文化部男子 vs 文化部女子 († : p<0.05)

運動部男子 vs 文化部男子 (¶ : p<0.05, ¶ ¶ : p<0.01)、運動部女子 vs 文化部女子 (¶ ¶ : p<0.05, ¶ ¶ ¶ : p<0.01)

る」、「自分の夢をかなえようと意欲にもえている」、「自分の良い面を一生懸命のぼそうとしている」及び「顧問の先生は、失敗した時など冗談を言ったりしてみんなを励ます」の5項目において、女子より男子の方が有意に高値を示した。これらの5項目のうち、「部活動での欲求満足度」についての項目が1項目、「充実感」についての項目は2項目、「中学生が認識した顧問教師の指導性」についての項目が1項目であった。このように、部活動において顧問教師の指導性に対する認識や自分の欲求が満たされることで、女子よりも男子の満足度や継続意欲が高まっている可能性が考えられる。

運動部と文化部の満足度を比較した結果、「顧問の先生は、練習内容や計画を部員に十分に理解できるように教える」、「顧問の先生は、技術やコツを上手に部員に教える」及び「練習の時は顧問の先生自身が模範演技者となって指導する」の3項目で文化部と比較して運動部の方が有意に高値を示した。この3項目はいずれも「中学生が認識した顧問教師の指導性」に関する項目であることから、運動部は文化部より顧問教師に対して満足度が高いと考えられる。

また、運動部における満足度の男女比較した結果、「部活動が楽しいと思う」、「今後もこの活動を続けていきたいと思う」、「自分の果たすべき役割がある」、「自分の判断に自信をもって行動できている」、「生活に充実感に満ちた楽しさがある」、「自分の夢をかなえようと意欲にもえている」、「自分の良い面を一生懸命のぼそうとしている」、「先生から認められていると感じる場がある」、「仲間から認められていると感じる場がある」、「部の仲間の中には、お互いにもうまくなろうとする雰囲気がある」、「試合に勝つことやコンクールへ入賞することなど成績を残すことを大きな目標としている」、「意見を素直に言える雰囲気がある」、「自分たちが主体となって活動している」、「顧問の先生は、失敗した時など冗談を言ったりしてみんなを励ます」及び「39項目の平均値」の14項目において、運動部女子より運動部男子の方が有意に高値を示した。これら14項目のうち、「部活動での欲求満足度」についての項目が2項目、「充実感」についての項目は5項目、「中学生が認識した部活動の集団凝集性」についての項目が3項目、「中学生が認識した顧問教師の指導性」についての項目が1項目であった。これらのことから、本研究における運動部の男子は運動部の女子より部活動を楽しんでいると思っており、部活動の集団に対してや自分の欲求を満たしてくれることなどから全般的に部活動に対して満足度が高く、継続意欲も高い傾向であった。

同様に、文化部における満足度を男女比較した結果、「自分で活動内容を選んだり決めたりできている」、「試合に勝つことやコンクールへ入賞することなど成績を残すことを大きな目標としている」及び「みんなの共通の目標に向かってメンバーが一丸となって活動している」の3項目において、文化部男子より文化部女子の方が有意に高値

を示した。これら3項目のうち、「部活動での欲求満足度」についての項目が1項目、「中学生が認識した部活動の集団凝集性」についての項目が2項目であった。これらのことから、運動部の傾向とは異なり、文化部の女子は文化部の男子より、特に部活動の集団に対しての満足度が高いと考えられる。

一方、運動部男子と文化部男子の満足度を比較した結果、「自分の果たすべき役割がある」、「部の仲間の中には、お互いにもうまくなろうとする雰囲気がある」、「試合に勝つことやコンクールへ入賞することなど成績を残すことを大きな目標としている」、「みんなの共通の目標に向かってメンバーが一丸となって活動している」、「何でも自由に話し合える雰囲気がある」、「部員一人一人の意思を大切にしている」及び「39項目の平均値」の7項目で、文化部男子より運動部男子の方が有意に高値を示した。これらの7項目は、「部活動での欲求満足度」についての項目が1項目、「中学生が認識した部活動の集団凝集性」についての項目は5項目、「中学生が認識した顧問教師の指導性」についての項目が1項目であった。これらのことから、運動部の男子においては文化部の男子よりも、特に部活動という集団に対しての満足度が高いと考えられる。

また、運動部女子と文化部女子の満足度を比較した結果、「その活動がさらに好きになった」、「自分で活動内容を選んだり決めたりできている」、「自分に強い影響を与えている集団だと思う」、「生活に充実感に満ちた楽しさがある」、「自分の夢をかなえようと意欲にもえている」、「自分なりの個性を大事にしている」及び「仲間から認められていると感じる場がある」の7項目で、運動部女子より文化部女子の方が有意に高値を示した。これらの7項目のうち、「部活動での欲求満足度」についての項目が2項目、「充実感」についての項目は4項目であった。これらのことから、男子の傾向とは異なり運動部の女子よりも文化部の女子において、特に部活動に対する自身の欲求やニーズが適合しており、充実感を得ることが満足度を高めると考えられる。しかし、運動部女子と文化部女子の満足度を比較では、「顧問の先生は、技術やコツを上手に部員に教える」、「練習の時は顧問の先生自身が模範演技者となって指導する」の2項目では、文化部女子と比較して運動部女子の方が有意に高値を示した。この2項目はいずれも「中学生が認識した顧問教師の指導性」についての項目であったことから、運動部の女子は顧問教師に対しての満足度が高いと考えられる。

これまでの研究において、部活動継続者において中学生の欲求が満たされていれば、充実感や学校生活への満足感高まることが報告¹¹⁾されているが、本研究においても同様であり特に男子にその傾向が顕著であった。また、運動部活動において自分たちの意見が反映されると満足度が高いと報告¹²⁾されているが、本研究においては男子では同様の傾向を示した一方で、女子では文化部でもその傾向が認められた。これらの結果は、本研究では運動部の女子の満足

度が男子や文化部の女子と比べて全般的に低い傾向であることや、文化部の男女とも自分のニーズに合致した活動内容と集団に対する満足度が影響している可能性が考えられる。また、運動部の特徴としては、男女とも顧問教師の指導に関する認識が満足度へ影響する傾向であり、文化部では特に女子が集団としての意識が満足度へ影響する傾向であった。

結語

本研究では、中学生における部活動の選択理由とその満足度について明らかにすることを目的として、鳥取市内の中学校2校を事例に検討を行った結果、以下のことが明らかとなった。

- ・ 運動部の選択理由としては、中学校入学前から実施していた活動の継続性に特徴としてみられ、文化部では「原則全員入部」という義務感や友人関係や周囲の環境が選択理由に影響していた。
- ・ 女子よりも男子の満足度が高い傾向であり、その原因としては顧問教師の指導性に対する認識や自分の欲求が満たされたことで継続意欲が高まっていると考えられた。
- ・ 運動部は文化部より、顧問教師に対する満足度が高い傾向であり、運動部の男子は運動部の女子より部活動を楽しんでいると思っており、部活動の集団に対してや自分の欲求を満たしてくれることなどから全般的に部活動に対して満足度が高く、継続意欲も高い傾向であった。
- ・ 文化部の男子は、運動部の男子や文化部の女子よりも、特に部活動という集団に対しての満足度が低い傾向であった。
- ・ 文化部の女子よりも運動部の女子は顧問教師に対しての満足度が高い傾向であり、その原因としては文化部の女子は部活動に対する自身の欲求やニーズが適合しており、充実感を得ていることが考えられた。

以上から、本研究で対象となった中学生においては、継続性、義務感及び友人関係等から部活動を選択しており、部活動と集団に対する満足度は高い傾向であったが、男女の比較や運動部と文化部との比較では、顧問教師に対する期待や失望がうかがえ、顧問教師の部活動における指導力やマネジメント能力の重要性が改めて確認される結果であったと考えられる。今後は、スポーツ種目別や文化的活動別の検討や大都市部との比較検討が課題である。

謝辞

本研究の実施にあたり、ご協力いただいた中学校の教職員ならびに生徒の皆様に感謝申し上げます。

(引用・参考文献)

- 1) 文部科学省 (2017) 小学校学習指導要領解説特別活動編
- 2) 文部科学省 (2017) 中学校学習指導要領解説総則編
- 3) 岡田有司 (2009) 部活動への参加が中学生の学校への心理社会的適応に与える影響—一部活動のタイプ・積極性に注目して— 教育心理学研究, 2009, 57, 419-431
- 4) 公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団・公益財団法人笹川スポーツ財団 (2016) スポーツ少年団現況調査報告書 日本スポーツ少年団登録データの分析 (2002年~2014年)
- 5) スポーツ庁 (2020) 令和元年度 総合型地域スポーツクラブに関する実態調査結果 概要
- 6) スポーツ庁 (2018) 運動部活動のあり方に関する総合的なガイドライン
- 7) 関耕二 (2018) 小学校における統廃合が体力の発達に及ぼす影響に関する事例的研究 山陰体育学研究, 33, 14-20
- 8) 植島直生・関耕二 (2019) 鳥取県における小中一貫教育校でのスポーツ教育の現状と課題 地域学論集(鳥取大学地域学部紀要), 16(1), 77-89
- 9) 樽木靖夫・木村昭雄・高田麻美 (2017) 学校現場におけるクラブ活動および部活動の課題と対応 千葉大学教育学部研究紀要, 66(1), 27-34
- 10) 杉浦ちはる・渡邊将司 (2017) 中学生はどのような理由で部活動を選択するのか 茨城大学教育学部紀要, 教育科学, 66, 447-460
- 11) 角谷詩織・無藤隆 (2001) 部活動継続者にとっての中学校部活動の意義—充実感・学校生活への満足度とのかかわりにおいて— 心理学研究, 72(2), 79-86
- 12) 深見英一郎・岡澤祥訓 (2016) 運動部活動における目標設定, 勝利志向性, 意見の反映度の実態並びにそれらが生徒の満足度に及ぼす影響 体育学研究, 61, 781-786